

人材

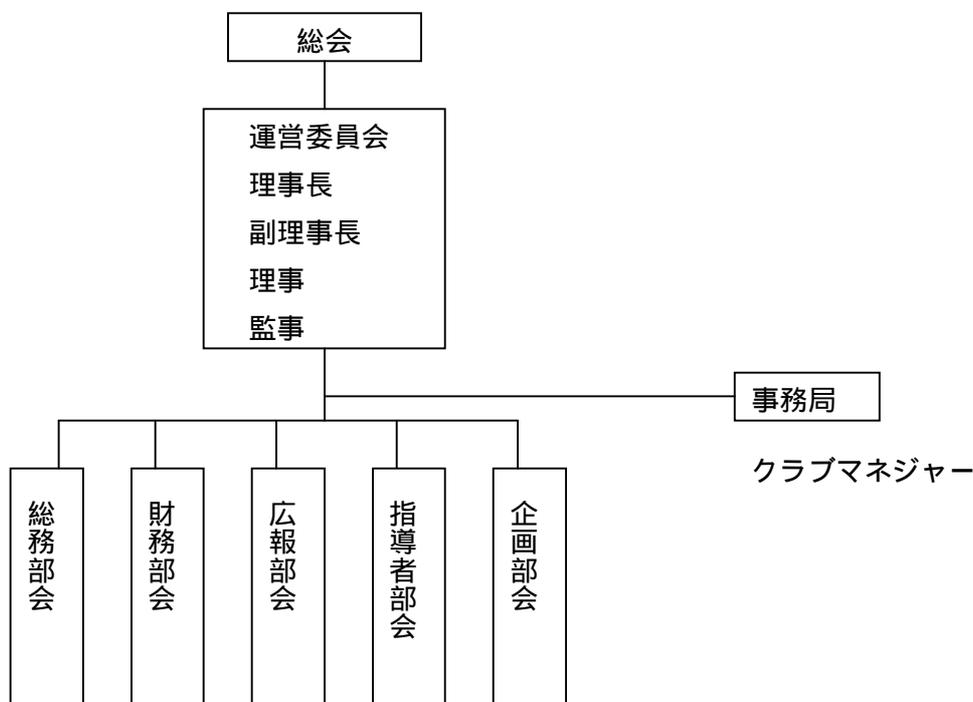
地域には体育指導委員や地区の競技団体等のスポーツ指導者、学校関係者のように教育やスポーツ振興に貢献している方や、町内会、青年部、婦人会など地域の振興に関わっている方が数多くいます。そういった様々な人材が連携をし、ネットワークを組んでスポーツ指導者、運営スタッフ或いはスポーツボランティア等について役割分担をし、相互にクラブを支えていくことが重要になってきます。

また、クラブが発展できるように、会員のニーズに応え、クラブメニューを魅力あるものにするためには質の高いスポーツ指導者や活動運営スタッフをクラブにできるだけ多く配置することが必要です。総合型地域スポーツクラブは地域住民が支え育成していくクラブですから、地域の中からこれら指導者・スタッフを発掘し、育成し、積極的に活用していくシステムを持つことが期待されます。

クラブを円滑に、しかも公正に運営していくためには、様々な役割の人たちの働きが重要になってきます。

下記はクラブ組織図の一例です。

文部科学省「クラブづくりの4つのドア」参考



(1) 運営委員会

運営委員会は、クラブの目的や会員の総意に沿って、民主的かつ円滑にクラブを運営するのが任務です。具体的な業務としては、総務、財務、広報、指導者に関すること、クラブが主催するイベント・教室の企画等多岐に渡っていますので、必要に応じて専門部会や企画部会を設置するのがよいでしょう。各部会は、実際に事業を運営する際には、いくつかが連携して業務を行いますので、日ごろから合同部会として開催できるようにしておくといよいでしょう。

(2) 事務局

事務局は、会員の直接の窓口となります。会員のみならず地域社会からの様々な相談にも対応できるよう、事務局が開いている曜日や時間帯、連絡先などを会員に適切に情報提供していくとともに、専任のスタッフを配置し、クラブの活動にかかわる会計処理・会員管理・施設利用調整等の業務を一元化し、日常的に遂行できるのが理想的です。

事務局業務が一括化できるということが、総合型地域スポーツクラブのメリットの一つでもあります。これまでの小さなクラブ、同好会、チーム等の組織のそれぞれが行っていた保険の加入、会費の徴収、謝金の支払い、施設利用の手続き等が事務局業務として一括で代行してもらえることで、総合型地域スポーツクラブに所属するだけで煩わしい事務業務から開放され、思う存分スポーツ活動を楽しむことができるようになるのです。しかも、これまでの活動以上に多彩な活動を楽しむことも可能になります。

これらを可能にするためにも、単独事務局の早期の設置が多くのクラブで望まれているといえます。

(3) クラブマネジャー

事業体としての総合型地域スポーツクラブ全体の経営管理、企画運営等を行う立場にある人をクラブマネジャーといいます。クラブマネジャーの業務は、会員のニーズ把握、会員とのコミュニケーション、活動メニューのプログラミング、総務、財務、広報等多岐にわたっており、それらすべてを兼ね備えた人材を得ることは難しいでしょう。したがって身近な理事や委員、指導者等の中からこうした能力を持った人を発掘し、有効に活用するのもクラブマネジャーの能力のひとつとなります。

クラブマネジャーに求められる資質「5つの能力」は

- 1) 「現状を把握する」能力
- 2) 「説明する」能力
- 3) 「コミュニケーション」能力
- 4) 「調整する」能力
- 5) 「事務処理をする」能力

ということが求められていますが、これらの全ての要件を満たす人材が地域に居るかといったら難しいかもしれません。これらを全て満たさなくても、クラブマネジャーを取り巻く人たちがカバーしてくれれば問題はありません。地域には色々な能力を持った人たちが埋もれています。会計が得意な人、ポスターやチラシを作ることに長けた人、パソコンに強い人など、そのような人たちを巻き込み、一人の人に大きな負荷を掛けることなく、地域の多くの人の協力の基にクラブの育成に取り組んでいきましょう。